

■ ぐあいさつ



経営管理委員会会長
中川 泰宏



代表理事理事長
柚田 勇市

みなさまには、日頃より京都府信用農業協同組合連合会（JAバンク京都信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、府内JAと一体となって、府内農業の発展を金融面から支援させていただくとともに、組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指し、業務展開を図ってまいりました。

この冊子は、平成27年度の当会の事業概況や経営状況、業務内容等を取りまとめ、利用者のみなさまに当会に対するご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、平成27年度のわが国経済は、雇用・所得環境には改善がみられたものの、新興国経済の減速を受けて輸出や生産が伸び悩むなど、総じてみれば足踏み状態が続きました。

一方、農業情勢につきましては、組合員の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加といった農業生産基盤を揺るがす問題が一層深刻化しました。また、TPP協定署名や法人化等による大規模経営体の増加、平成28年4月からの改正農協法施行など、国内農業・農業者・JAを取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。

このような状況の下、実践方策に掲げた基本目標の実現と経営数値目標の達成に向け、「農業・農業者応援プラン」等の各種取組を実践し、JAと一体となって事業量拡大に努めました。

平成28年度は、新たにスタートさせた「JAバンク京都中期戦略」の基本目標である「組合員・利用者・地域において一層必要とされる存在に」なるために、JAとともに自己改革に取り組み、役職員の一人ひとりが柔軟な発想と行動力を持って、各事業を進めてまいります。

今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年7月

経営管理委員会会長
代表理事理事長

中川 泰宏
柚田 勇市